

お客様にしっかり理解していただくための  
日興アセット PDF紙芝居シリーズ



設定・運用は

**日興アセットマネジメント**

日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会



**どんなに世の中が便利になっても、  
どんなに新しいサービスが生まれても、**





人が健やかに生きていける社会こそが、  
大前提。



食。  
フード



そして、「食」を支える

農業。

アグリカルチャー



# 持続可能な食料生産に向け、 大きな構造改革が始まる農業・食料分野。






期待される巨大な成長の恩恵を、  
長期投資家として、いまこそ捉えたい。





# 世界で起こる 地政学的環境の 変化や、 サプライチェーンの 分断を背景にした 資源価格の高騰、

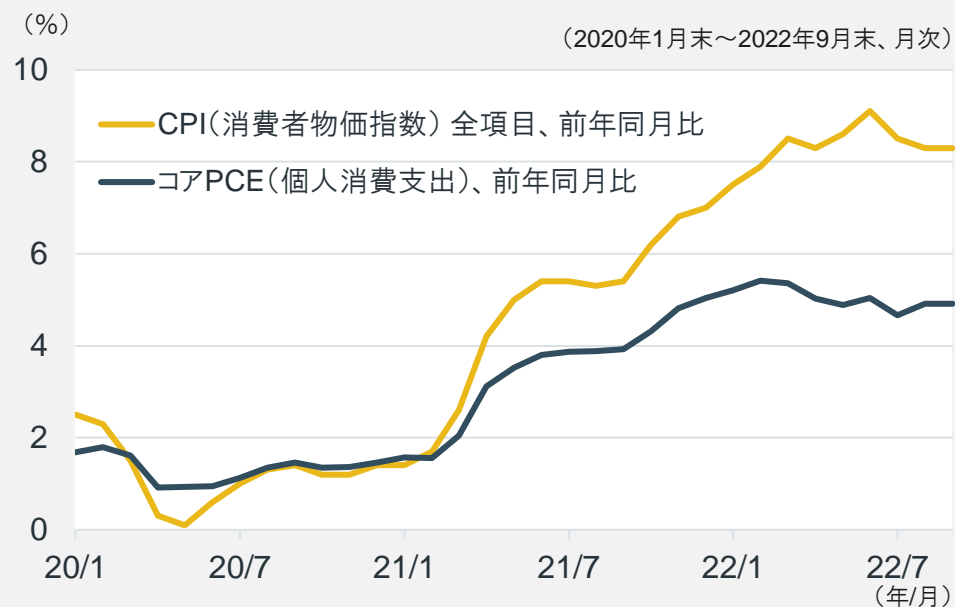
## ■近年の主な穀物価格の上昇率

穀物		
小麦		+ 2.1 倍程度
トウモロコシ		+ 2.2 倍程度
大豆		+ 1.9 倍程度

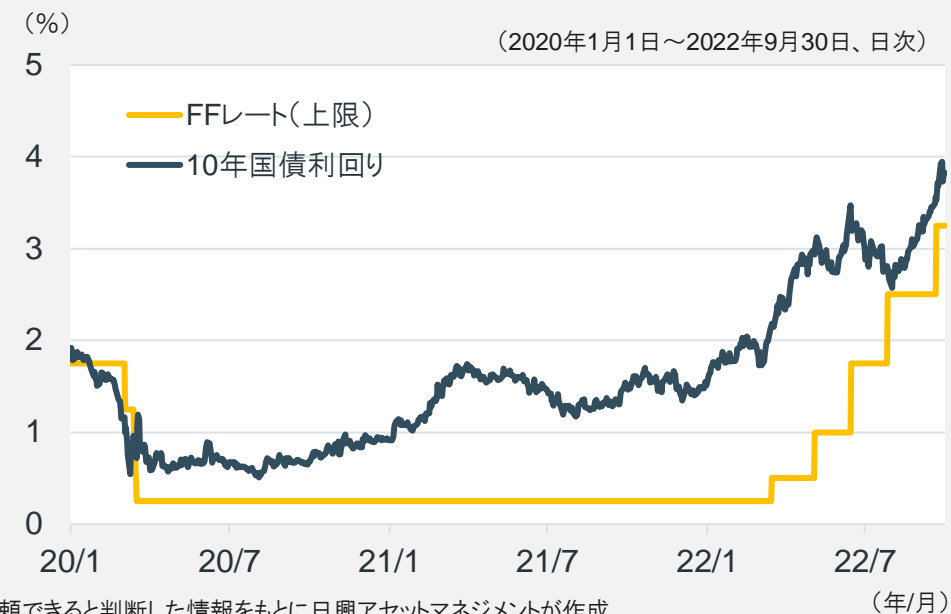
直近3年間の先物価格の上昇率(2019年1月初~2022年4月末)  
 信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成  
 ※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

# 懸念される インフレを抑制 するための 各国金融政策の 方向転換などを 背景に、

## ■米国の物価指数の推移



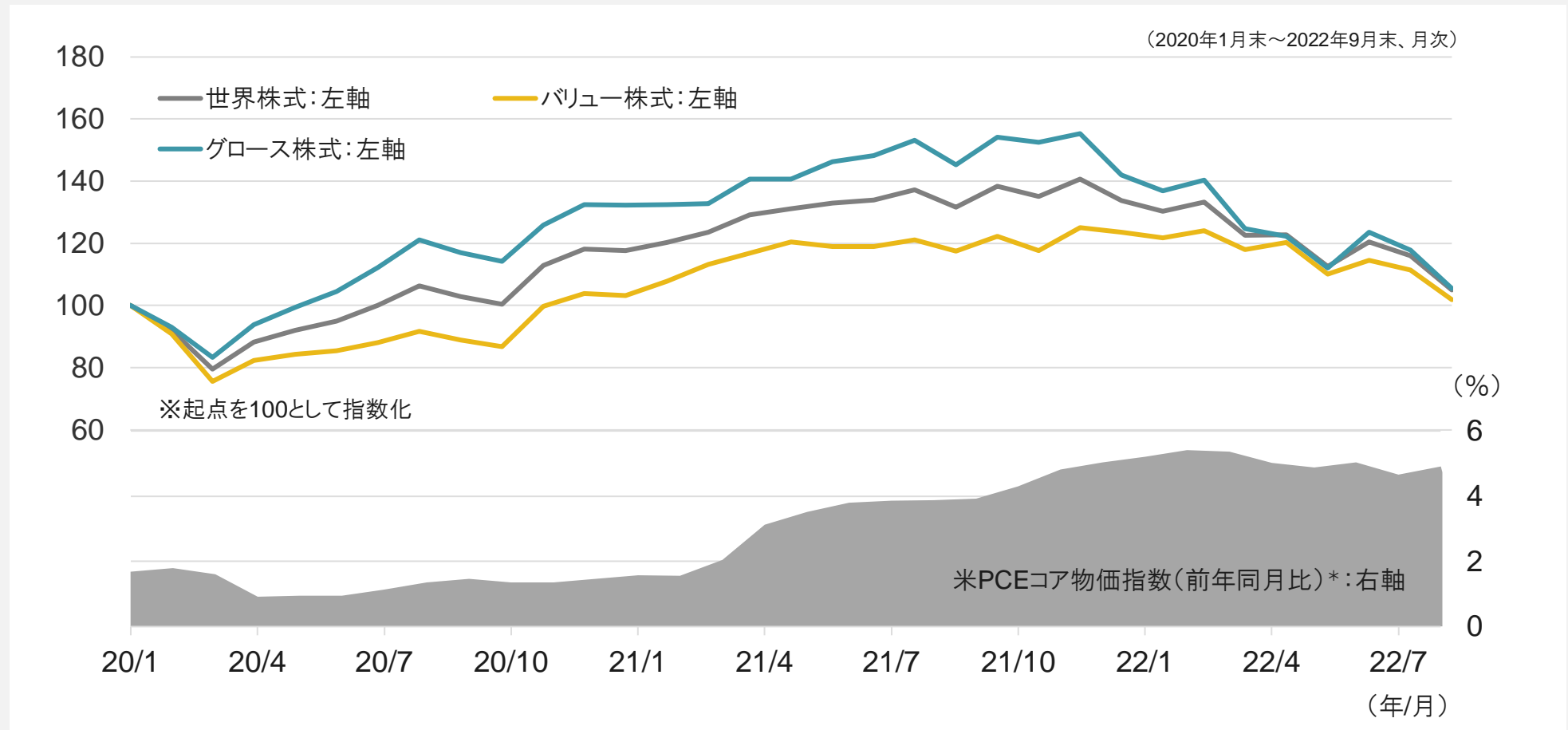
## ■米国の政策金利、10年国債利回りの推移



信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成  
※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

# 株式市場が足元軟調に推移する中、

## ■各株価指数と米国物価指数の推移



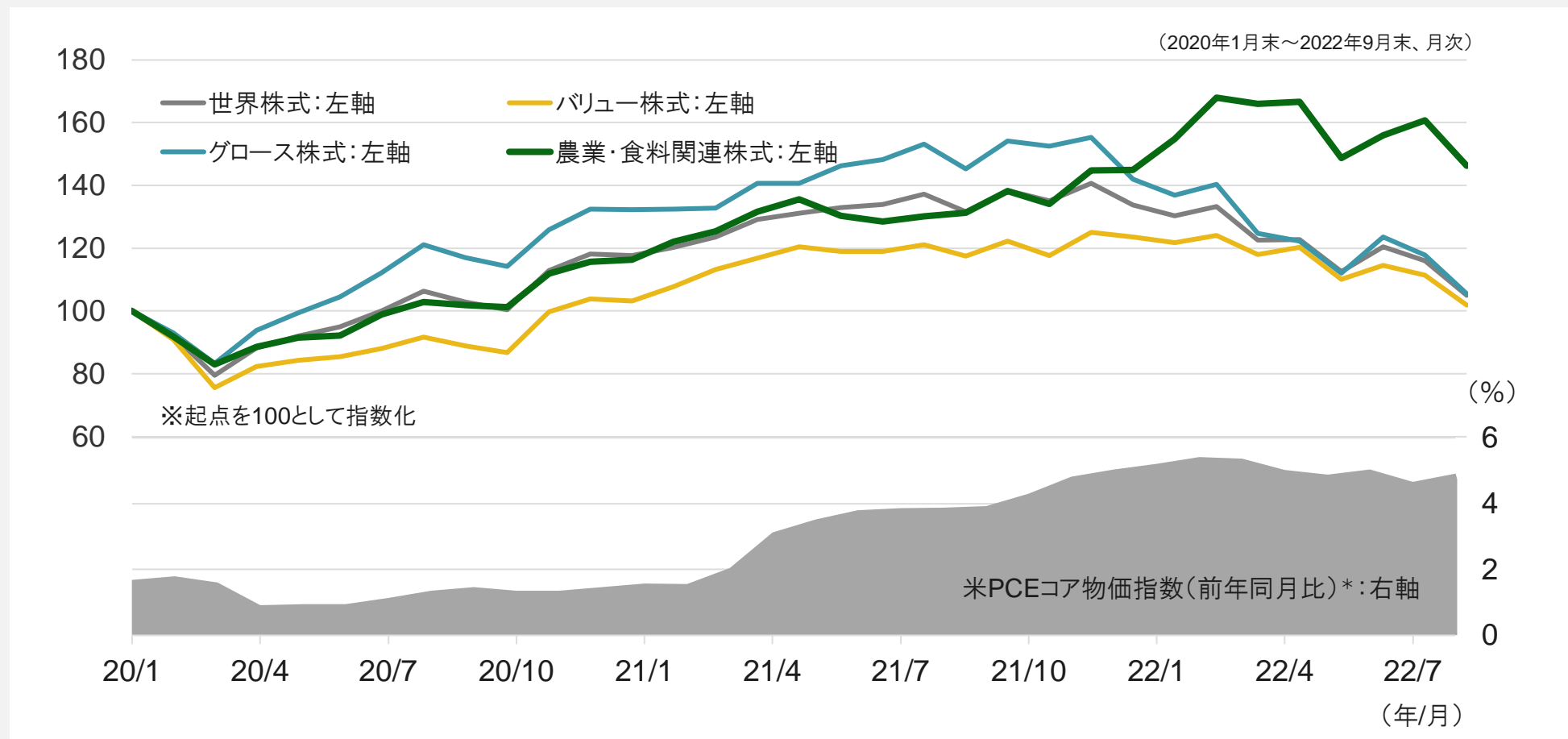
\*米PCEコア物価指数は2020年1月末～2022年8月末

世界株式はMSCI ACワールド指数、バリューストックはMSCI ACワールドバリューストック指数、グロース株式はMSCI ACワールドグロース株指数、(いずれもトータルリターン、米ドルベース)の値です。なお、上記指数はいずれも当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断した情報をもとに、日興アセットマネジメントが作成 ※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

# まず注目すべきは、インフレ追従傾向が見られる農業・食料関連株式の価格特性。

## ■各株価指数と米国物価指数の推移



\*米PCEコア物価指数は2020年1月末～2022年8月末

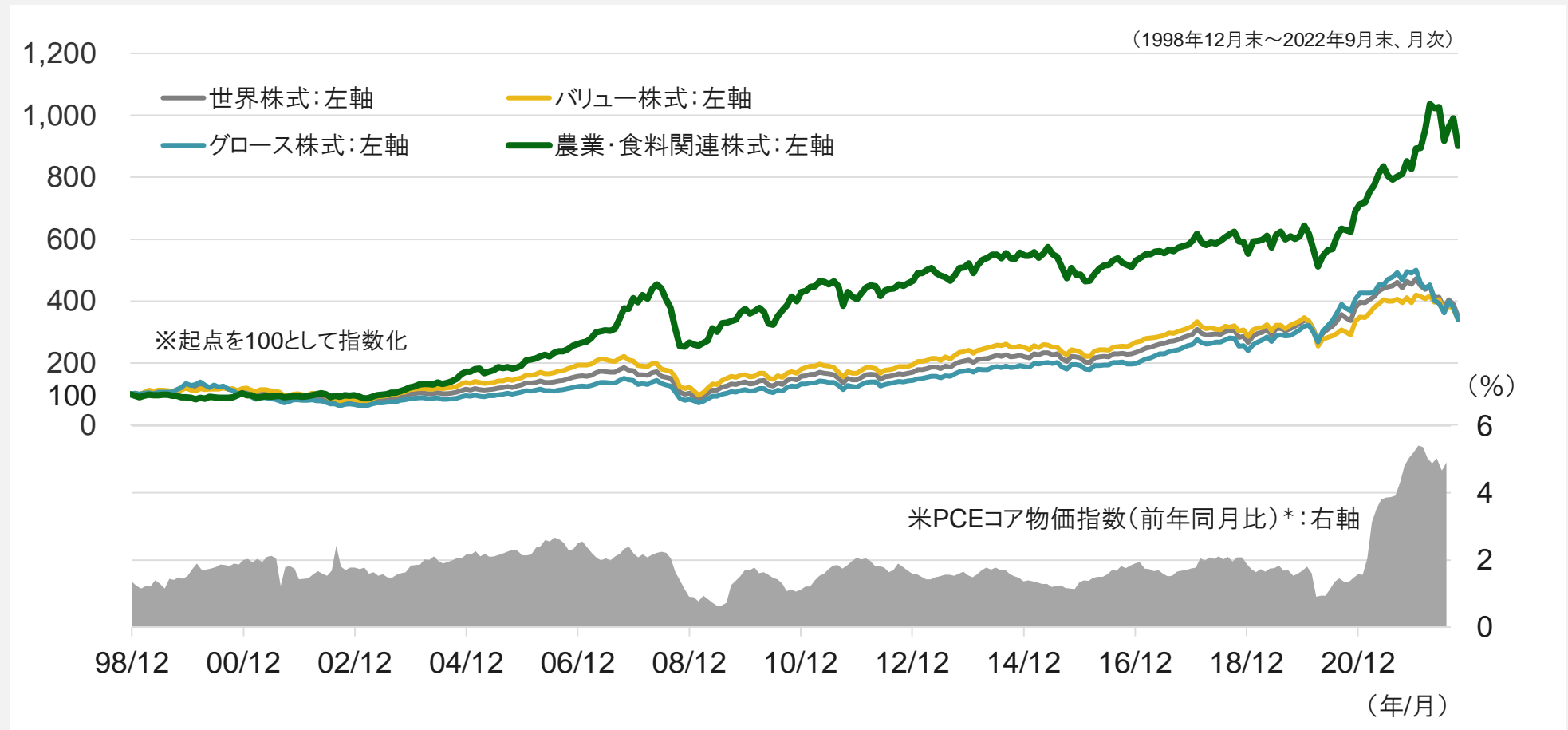
世界株式はMSCI ACワールド指数、バリュー株式はMSCI ACワールド/バリュー株指数、グロース株式はMSCI ACワールドグロース株指数、農業・食料関連株式はMSCI ACワールドアグリカルチャー&フード指数(いずれもトータルリターン、米ドルベース)の値です。なお、上記指数はいずれも当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断した情報をもとに、日興アセットマネジメントが作成 ※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。



# 長期で見ても、インフレ加速時に世界株式 以上の上昇を遂げてきたという事実。

## ■各株価指数と米国物価指数の推移



\*米PCEコア物価指数は1998年12月末～2022年8月末

世界株式はMSCI ACワールド指数、バリューストックはMSCI ACワールドバリューストック指数、グロース株式はMSCI ACワールドグロース株指数、農業・食料関連株式はMSCI ACワールドアグリカルチャー&フード指数(いずれもトータルリターン、米ドルベース)の値です。なお、上記指数はいずれも当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断した情報をもとに、日興アセットマネジメントが作成 ※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

“新常态”へと  
適応を進める世界  
の流れに合わせ、  
投資家も  
“新たな世界”の  
成長産業を  
再定義し始めた。



## 新FAANG

米銀大手バンク・オブ・アメリカが「新たな世界を映すもの」として提案した投資アイデア。



### 新FAANG:

燃料(Fuels)、航空・防衛(Aerospace and defense)、  
農業(Agriculture)、原子力と再生可能エネルギー(Nuclear and  
renewables)、金・金属・鉱物(Gold, metals, minerals)の5分野

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。  
また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。



**それは、短期投資の視点だけでなく、**



**「食と農」の分野に起こる変革の  
必要性と必然性を、改めて  
世界が再認識したからかもしれない。**

# 実はずっと 懸念されてきた 世界的な 食料不安。

進行する温暖化や  
異常気象等による  
水・農地の枯渇、

## 自然災害

洪水・干ばつ・  
台風などの増加



農作物の収穫量減少を背景にした  
「食料危機」

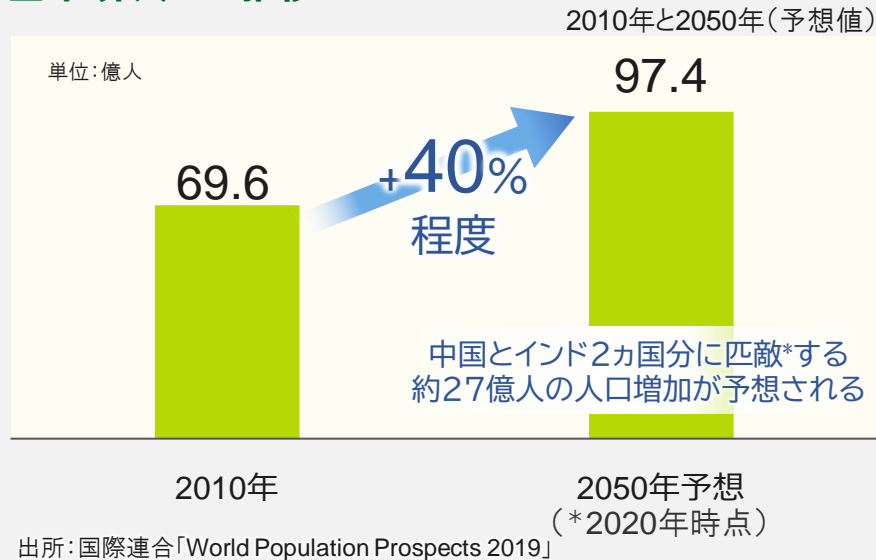


## 海面上昇

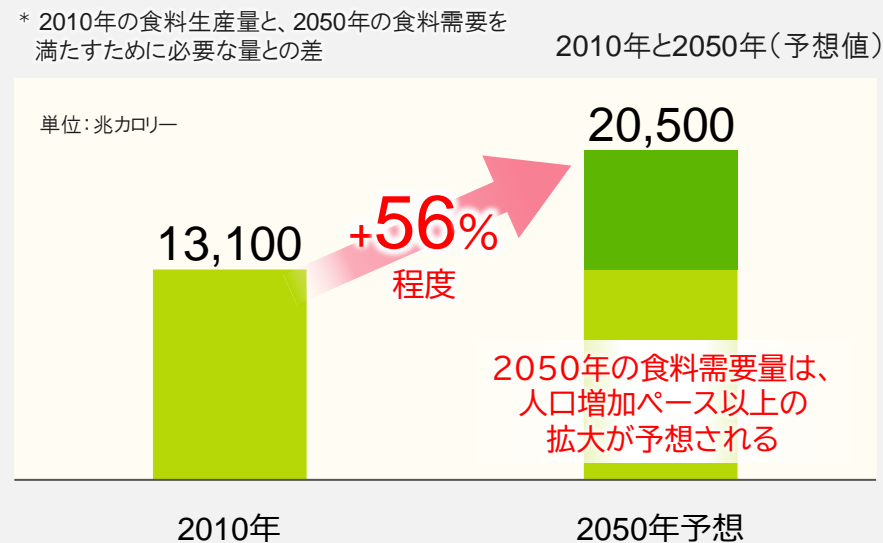
氷河の融解、  
塩害による農地縮小



## ■ 世界人口の推移



## ■ フードギャップ\*



出所: Searchinger, T., et al. 「Creating a Sustainable Food Future」 World Resources Institute. 2019.

※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

# 食料需要は、 人口増加のペース 以上に高まる 見通し。

# 「食料危機」は もはや、まったなしの 深刻な段階に。

新興国では、  
経済成長と共に  
より豊かな食生活へ。

将来的な  
食料需要は  
高まるばかり。



### 中国における牛肉消費の例

中国の牛肉消費量は飛躍的に拡大



107万トン (1990年) ▶ 860万トン (2020年)

世界の消費量の

**1割超**

中国の消費量をまかなうためには…



牛肉消費量 トウモロコシ  
860万トン (2020年) ≒ 9,460万トン

**ブラジル**

**一国分の**

トウモロコシ  
生産量\*に相当

— 牛肉1kgの生産にトウモロコシ11kgを要する\*\*

\* 約1億396万トン (2020年時点)

\*\* 日本の飼養方法の場合

(出所)IMF(国際通貨基金)、農林水産省、FAO(国際連合食糧農業機関)、OECD(経済協力開発機構)

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。



# 安定的な食料供給。



それは、実需を背景にした

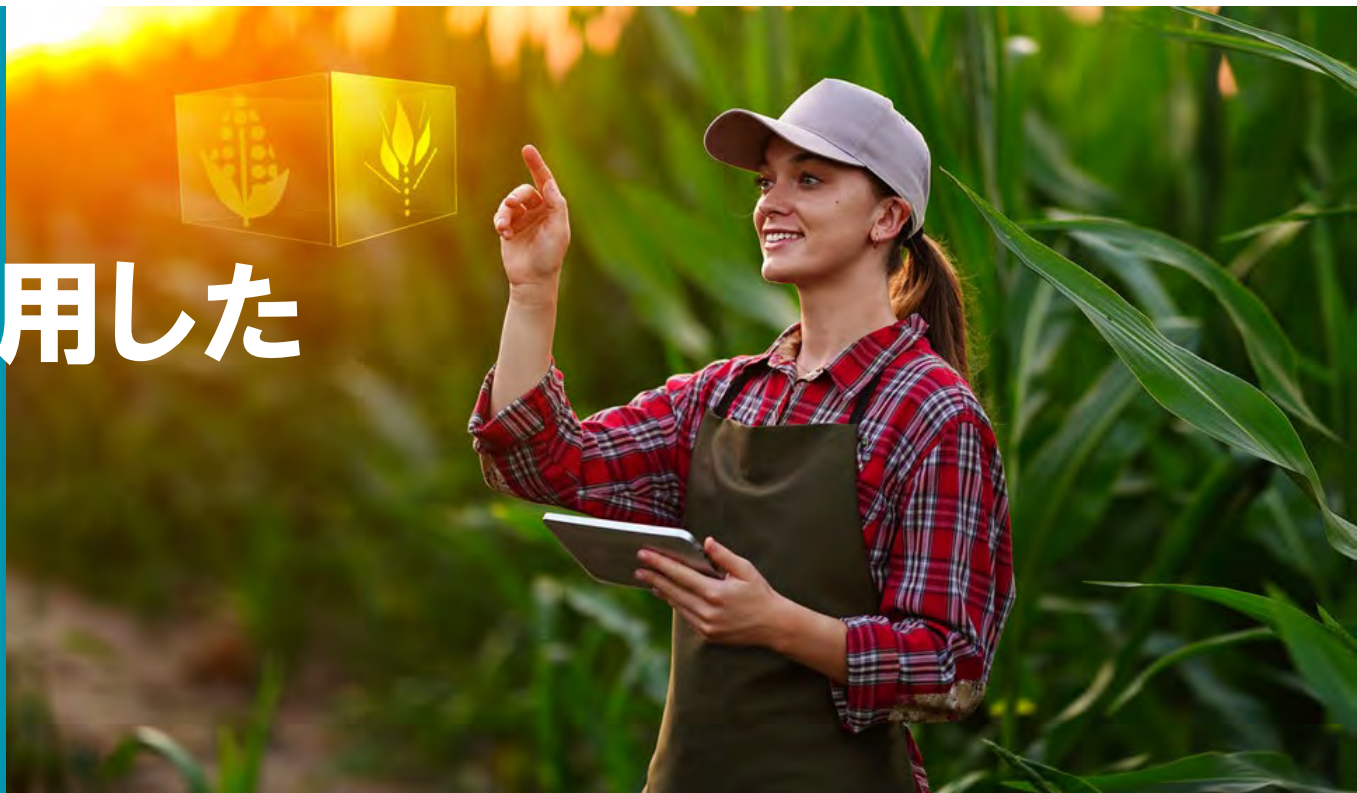
# 不可逆かつ巨大な潮流(メガトレンド)。

# 注目の分野



例えば、

テクノロジーを活用した  
収穫量の拡大



農業イノベーション



**完全自動運転農機  
の導入や  
ドローンによる  
農薬の散布は、  
  
効率的、かつ  
労働力不足の  
解決へも寄与。**



**AI(人工知能)による  
農作物の成長管理や  
高性能な収穫  
ロボットの導入も。**

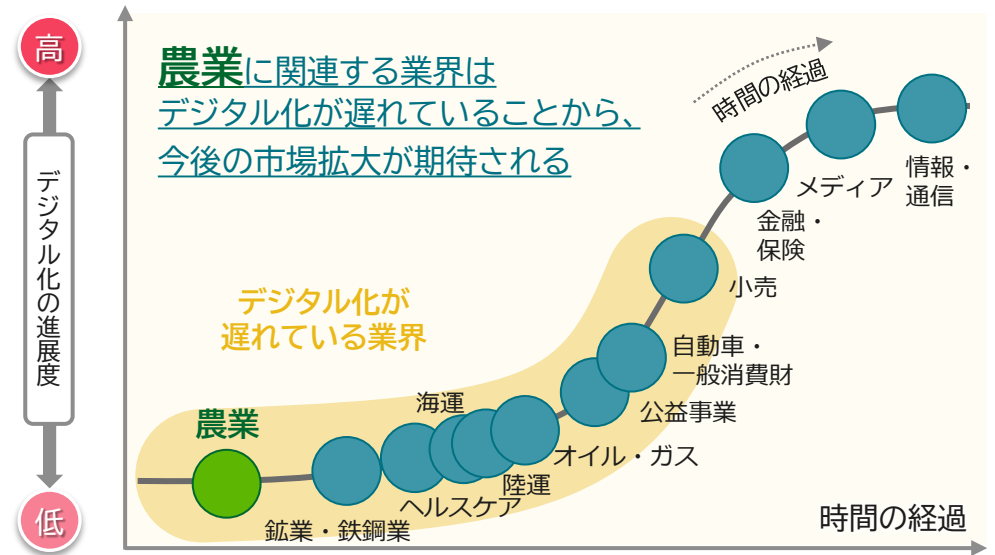
**農業にテクノロジーを  
活用した取り組みが  
大きく前進中。**



# デジタル化が遅れていた農業の分野。

# だからこそ、その成長余地はひとときわ大きいはず。

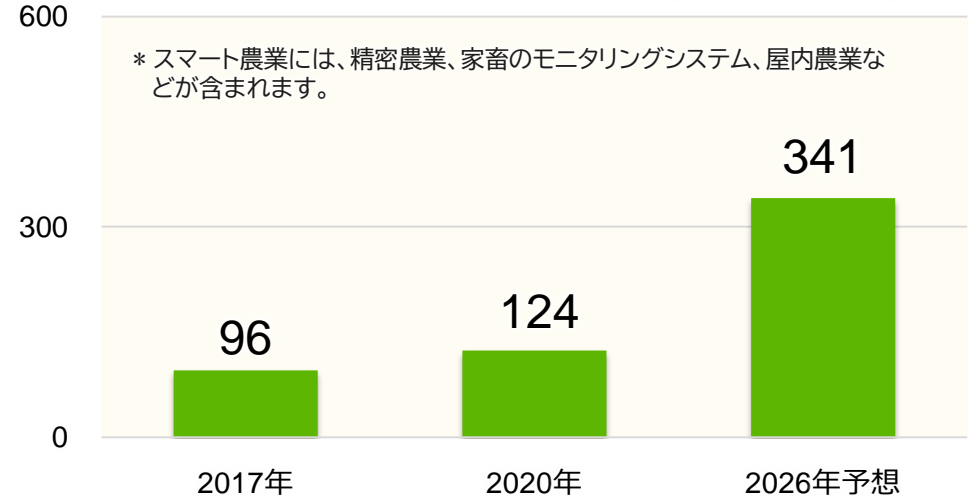
## ■各産業のデジタル化の発展段階のイメージ



ABB社の資料をもとに日興アセットマネジメントが作成

## ■スマート農業\*の市場規模

(億米ドル) (2017年、2020年、2026年予想)



(出所) BIS Research

※ 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。



例えば、

代替タンパク質の開発や  
飼料の改良などの



フードエボリューション

## 代替タンパク質の開発

<植物肉の製造プロセスの例>



大豆やえんどう豆などから  
タンパク質を抽出



抽出したタンパク質に、ジャガイモのでんぷん、  
ココナッツオイル、セルロースなどを添加

肉の触感や肉汁、霜降りなどを再現



植物肉は、通常の畜産と比較して、温暖化ガスや水使用量、

必要な土地面積を **90%** 程度、削減できるとされる

WEF(世界経済フォーラム)や各種報道などをもとに日興アセットマネジメントが作成

従来の畜産業・  
漁業から得る  
タンパク質とは  
異なる、

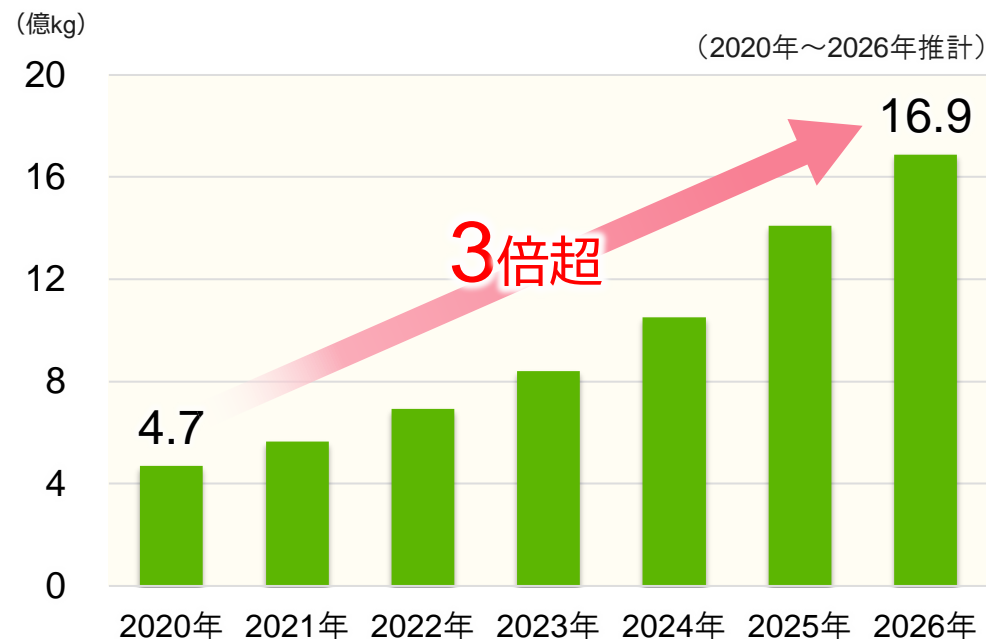
植物由来の代替肉。



環境負荷の低い  
タンパク源の  
開発・普及に向け  
ベンチャーも大企業  
も入り混じる。  
市場はまさに  
これからが本番。



### ■世界の植物性代替肉消費量の推移



(出所) Statista; Statista Consumer Market Outlook  
※消費量のデータはすべてStatista Market Outlooksによる推計値(2021年時点)

※ 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。



**飼料の改良で  
牛から排出される  
メタンも削減へ。**

**つまり、**

フードエボリューション

**「食の進化」は**

**動物の健康や地球の  
環境保全にも貢献。**



例えば、

廃棄物から作られる  
バイオ製品

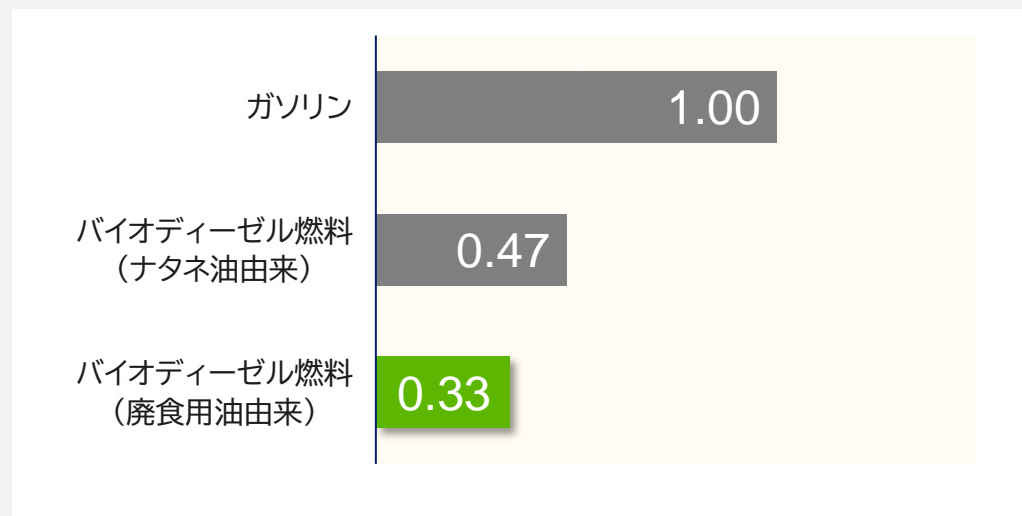


再生力のある経済

# 廃棄物を活用した 植物由来の バイオディーゼル 燃料等の生成は、 環境に配慮した、 資源の有効活用 という視点。



■ 主な燃料の原料生産、製造、燃焼で発生する二酸化炭素排出量の比較 ※ガソリンを1とした場合



環境省などの情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。



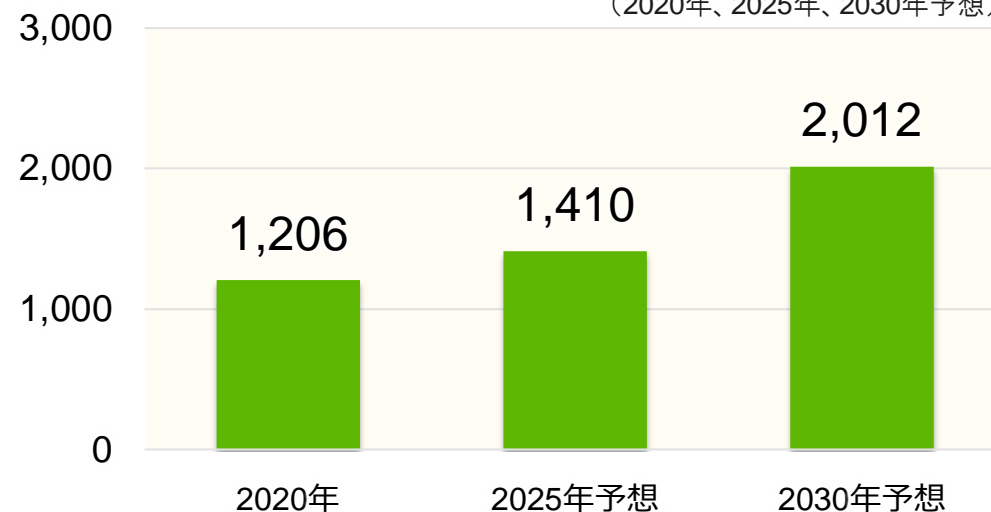
それは、  
地球温暖化で  
多大な影響を受ける  
農業・食料領域  
にとって、  
今後、必要不可欠な  
ビジネスとなるはず。



### ■世界のバイオ燃料の市場規模

(億米ドル)

(2020年、2025年、2030年予想)



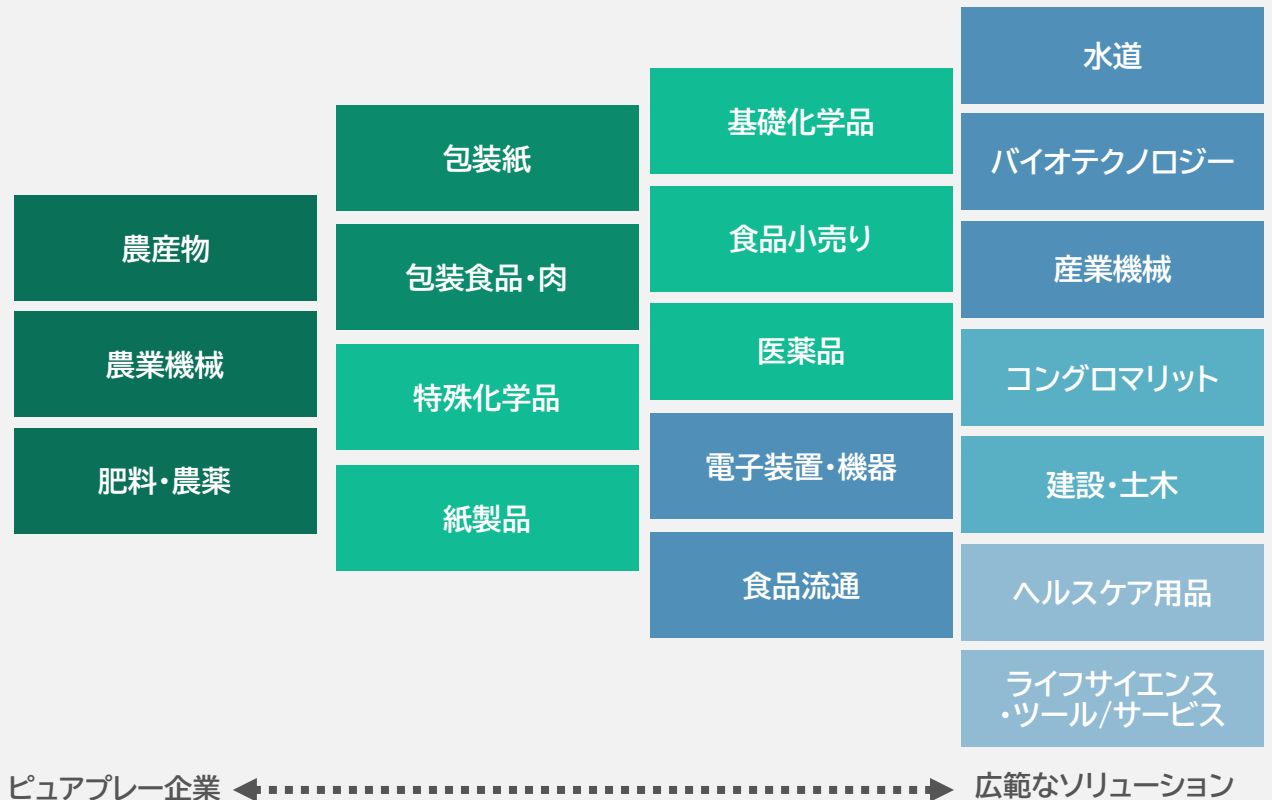
※2025年以降は予想値(2021年時点)  
(出所)Precedence Research

※ 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

# 食と農を取り巻くビジネス領域は 本当に広く、そして多岐わたるもの。



## ■ “農場から食卓まで” ～ 広範な投資ユニバース





# 人と地球の未来を創る必須の変革は、

## ■当ファンドの投資カテゴリー

### 農業イノベーション



- 農業の生産性向上／収穫量の拡大
- 水資源の管理・効率化
- 動物向け医薬品の開発

### フード・エボリューション



- 代替タンパク質の開発
- より健康を重視した食品の開発
- 動物福祉の確保、飼料添加物の開発

### 再生力のある経済



- 自然環境に配慮した持続可能な林業
- 木材原料からのバイオ製品の開発
- 環境負荷の低い包装資材の開発
- 食品廃棄物エネルギー生成／フードロスの削減

## 広い視野で多角的に捉えたい。

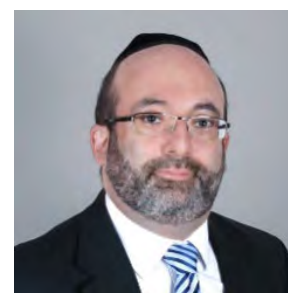
※ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー(以下、ラザード社)は、「グローバル・アグリカルチャー&フード株式ファンド」のマザーファンドの運用を行いません。  
※投資カテゴリーはラザード社が考える分類です。※当ファンドの投資カテゴリーは上記に限定されるものではなく、将来、変更となる可能性があります。  
※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行えない場合があります。

人間にとって必須な、  
農業と食料分野における  
“持続的イノベーション”を  
ラザード社の視点で。

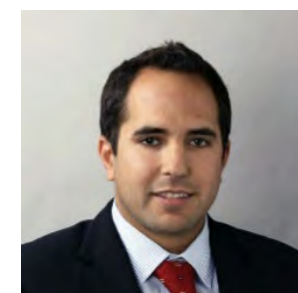
■ 運用チーム



Terence Brennan  
(農業イノベーション)



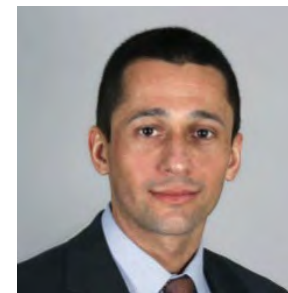
Michael Bernadiner  
(再生力のある経済)



Juan Mier  
(フード・エボリューション)



Kim Tilley  
(ポートフォリオ設計)



David Alcaly  
(ESG)



William Cheung  
(データサイエンス)

グローバルベースの研究やデータサイエンスといったラザード社の運用プラットフォームを最大に活用しながら、各分野のスペシャリストで構成された運用チームが当ファンドの運用を担当。

\*ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー(ラザード社)は、「グローバル・アグリカルチャー&フード株式ファンド」のマザーファンドの運用を行ないます。

LAZARD  
ASSET MANAGEMENT



## ラザード社からのメッセージ

この10年間で農業や食料の分野でも  
技術革新が見られています。

しかしサステナビリティへの取り組みは  
まだ始まったばかりです。

アグリカルチャー&フード関連市場は  
長期的かつ魅力的な投資機会になると  
確信しています。

デヴィッド アルカリー氏  
ラザード・アセット・マネージメント LLC

## ■ 本質的価値を見極め、適正価格で投資

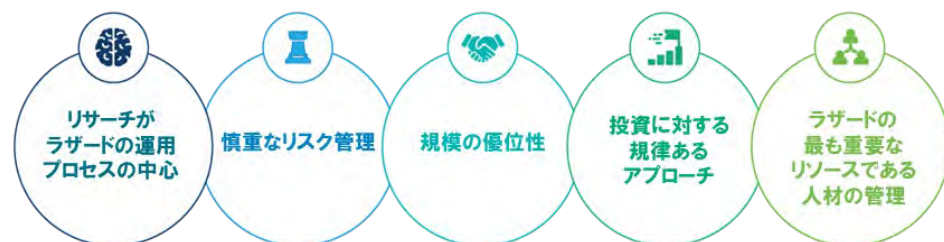
ラザード社では、徹底したリサーチのもとファンダメンタルズとバリュエーションを見極め、企業の本質的な価値を判断した上で投資銘柄を選定します。



※上記はイメージです

## ■ リサーチが運用プロセスの中心

情報分析に対する深い専門知識を有するリサーチ力はラザード社の強みの一つです。ポートフォリオマネージャーとリサーチアナリストが密に連携し、キャッシュフロー、資本収益率、バリュエーションを重視しながら、運用哲学に沿ったパターンの収益獲得を追求します。



ラザード社の投資哲学は徹底しています。

ファンダメンタルズに対して適正と判断される株価水準で投資をすること。

この投資哲学を遵守することが一貫性のあるリターンの獲得につながると考えています。





投資哲学に基づき、  
地球規模の重要課題の解決  
に貢献するイノベーション  
企業を見極め、その長期的  
な成長を当ファンドを通じて  
捉えていきます。



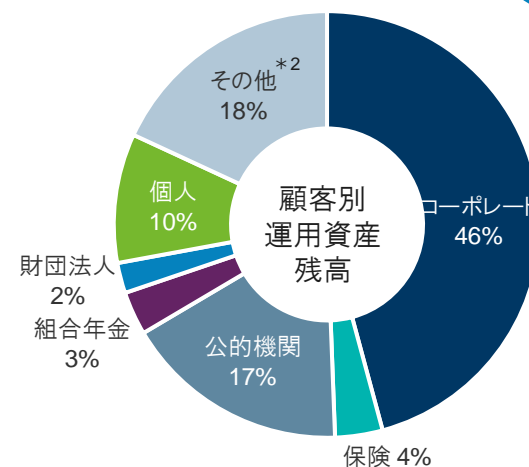
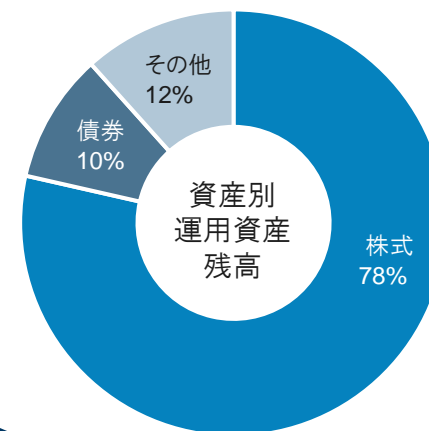
当ファンドの運用チーム

## ラザード社の概要

### ■ 運用資産残高<sup>\*1</sup>:資産別・顧客別比率

2,209

億米ドル  
(約26.8兆円)



<sup>\*1</sup>: 運用資産残高は、投資一任契約を含むラザード・グループの運用委託資産合計です。

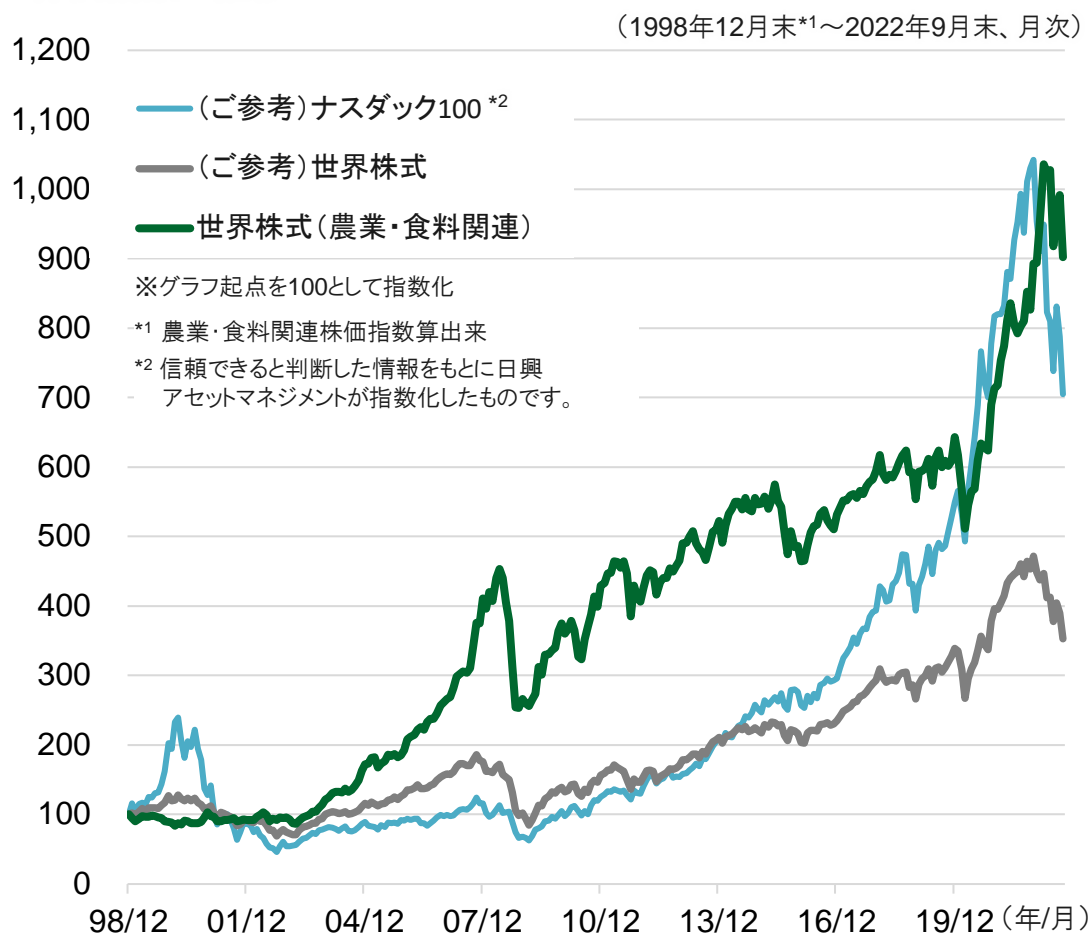
<sup>\*2</sup>: その他には、ミューチュアル・ファンド等の顧客を含みます。

※上記数値は四捨五入しておりますので、合計が100%とならない場合があります。運用資産残高には、ラザード・アセット・マネジメント・エルエルシー(ニューヨーク)およびその子会社の運用資産が含まれますが、Lazard Frères Gestion/Parisや、ラザード・リミテッドのその他の運用事業の資産は含まれていません。換算為替レートは1米ドル=121.37円。(2022年3月末現在)

ラザード・アセット・マネジメント・エルエルシー(ラザード社)は、米国・ニューヨークを拠点とする資産運用会社です。170年超の歴史を持つ投資銀行であるラザード・フレール・アンド・カンパニー・エルエルシーの資産運用部門として1970年に設立されました。株式運用の中でもアクティブ運用に注力しており、機関投資家や公的年金などを主な顧客として、資産運用業務を行なっています。

# (ご参考) 農業・食料関連株価指数の推移

## ■ 株価指数の推移



※世界株式はMSCI ACワールド指数、世界株式(農業・食料関連)はMSCI ACワールド アグリカルチャー&フード指数を使用

※上記指数はいずれもトータルリターン、米ドルベースの値です。また、いずれも当ファンドのベンチマークではありません。

※信頼できると判断した情報をもとに、日興アセットマネジメントが作成 ※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

## ■ 株価指数別リスク・リターンと最大ドローダウン

(1998年12月末～2022年9月末、月次)

	世界株式 (農業・食料 関連)	(ご参考) 世界株式	(ご参考) ナスダック 100
リターン(年率)	9.7%	5.4%	8.6%
リスク(年率)	15.5%	15.7%	24.2%
リターン/リスク	0.63	0.35	0.35
最大ドローダウン	-44.3%	-54.6%	-81.0%
世界株式 (農業・食料関連) との相関係数*3	—	0.74	0.40

※リターンは累積リターンを年率換算、リスクは月次リターンの標準偏差を年率換算しています。また、最大ドローダウンは月末値ベースで計算しています。

\*3 相関係数とは、2つの資産間での値動きの連動性を示す指標であり、分散投資を行なう際、有効な組み合わせの分析などに活用されています。「-1から1」の間の値をとり、1に近いほど正の相関性が強く(同方向に動く傾向が強い)、-1に近いほど逆相関(逆方向に動く傾向が強い)、0に近いほど相関性が無いとみなされます。



# ポートフォリオの状況 (2022年9月末時点)

## ■組入上位10銘柄

(銘柄数:34銘柄)

	銘柄名	国・地域	業種	投資カテゴリー	比率
1	ARCHER-DANIELS-MIDLAND CO アーチャー・ダニエルズ・ミッドランド	米国	生活必需品	フード・エボリューション	6.1%
2	CF INDUSTRIES HOLDINGS INC CFインダストリーズ・ホールディングス	米国	素材	農業イノベーション	6.0%
3	NUTRIEN LTD ニュートリエン	カナダ	素材	農業イノベーション	5.8%
4	DARLING INGREDIENTS INC ダーリン・イングレディエント	米国	生活必需品	再生力のある経済	5.5%
5	CORTEVA INC コルテバ	米国	素材	農業イノベーション	5.2%
6	BUNGE LTD ブンゲ	米国	生活必需品	フード・エボリューション	5.0%
7	FMC CORP ディア	米国	資本財・サービス	農業イノベーション	4.4%
8	AGCO CORP AGCO	米国	資本財・サービス	農業イノベーション	4.2%
9	FMC CORP FMC	米国	素材	農業イノベーション	4.1%
10	GRAPHIC PACKAGING HOLDING CO グラフィック・パッケージング・ホールディング	米国	素材	再生力のある経済	3.5%

## ■国・地域別組入上位10カ国

	国・地域名	比率
1	アメリカ	59.7%
2	カナダ	7.4%
3	オランダ	5.7%
4	フィンランド	4.5%
5	ノルウェー	3.3%
6	ドイツ	2.4%
7	アイルランド	2.2%
8	スイス	1.9%
9	日本	1.8%
10	ブラジル	1.6%

## ■業種別組入上位10業種

	業種	比率
1	素材	39.6%
2	食品・飲料・タバコ	23.7%
3	資本財	17.9%
4	医薬品・バイオテクノロジー	5.3%
5	不動産	3.3%
6	テクノロジー・ハードウェア	3.2%
7	ヘルスケア機器・サービス	0.5%

※上記はマザーファンドの状況です。比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。※業種はGICS(世界産業分類基準)に基づきます。※投資カテゴリーはラザード社が考える分類です。「投資カテゴリー」は今後変更となる場合があります。※銘柄名は信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが和訳したものであり、実際と異なる場合があります。

※上記は、個別の銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

# 基準価額の推移

(2022年7月29日(設定日)～2022年10月26日)



※基準価額は信託報酬等(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。  
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

(年/月/日)

# お申込みに際しての留意事項①

## ■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。



## お申込みに際しての留意事項②

主なリスクは以下の通りです。

### 価格変動リスク

- 株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- 新興国の株式は先進国の株式に比べて、また中小型株式は株式市場全体の平均に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

### 流動性リスク

- 市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- 新興国の株式は先進国の株式に比べて、また中小型株式は株式市場全体の平均に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

# お申込みに際しての留意事項③

## 信用リスク

- 投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト(債務不履行)や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

## 為替変動リスク

- 外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- 一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

## カントリー・リスク

- 投資対象国における非常事態など(金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など)を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- 一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

(次ページに続きます)

# お申込みに際しての留意事項④

## その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・アグリカルチャー & フード株式ファンド」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。



# お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2032年7月26日まで(2022年7月29日設定)
決算日	毎年7月26日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※ 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※ 課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※ 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 ※ 配当控除の適用はありません。 ※ 益金不算入制度は適用されません。

# 手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

< 申込時、換金時にご負担いただく費用 >

購入時手数料	購入時の基準価額に対し <u>3.3%(税抜3%)以内</u> ※ 購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※ 収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

< 信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用 >

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し <u>年率1.8205%(税抜1.655%)</u>
その他の費用・ 手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額</u> が信託財産から支払われます。組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※ 運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

# 委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社	ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕 <a href="http://www.nikkoam.com/">www.nikkoam.com/</a> 〔コールセンター〕0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

## 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人第二種 金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○	○	
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○

(資料作成日現在)



**nikko am**  
日興アセットマネジメント